

# 喘息ニュース 1月号

発行 西淀病院・のぞと診療所  
BAグループ

2009年になりました。また新しい1年が始まります。  
年末年始はいかがお過ごしだったでしょうか？  
本年もよろしくお願いいたします。



喘息の薬には注射薬・のみ薬・はり薬・吸入薬があります。  
なぜ喘息で吸入薬をよく使うのかについて見ていきたいと思います。

★ 経口薬と比べ、吸入薬の良いところは何でしょう？

少量で効果があり、不必要な全身作用も少なくてすみます。

◎ 吸収された後、**全身を回る**  
⇒ 全身の臓器に影響を与える  
⇒ 全身の**副作用** 多い  
⇒ **使用量**： 多い

◎ 気管支に直接  
⇒ **全身にほ**  
⇒ 全身の**副**  
⇒ **使用量**  
⇒ 効果が確

吸入で大切なことは・・・

定期的に使用している吸入薬は

発作がなくても続けよう

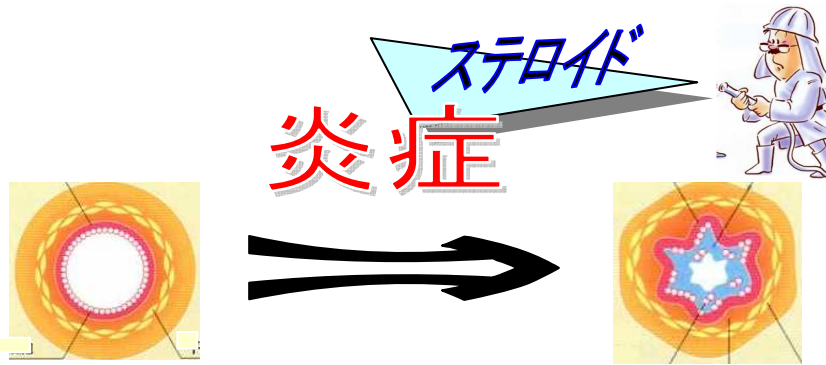
継続は  
力なり！



★ 吸入ステロイド剤がよく使用されているのはどうしてでしょう。

→ 喘息の予防には、気道の炎症を抑える必要があります。この炎症を抑えるのがステロイド剤です。

しかしステロイド剤は、長く飲み続けていると炎症を様々な作用があらわれ、不都合なことが起こることがある。このため薬の量が少なくてもすむ吸入剤を使うことがおすすめです。



気道の炎症を最も強く抑えるのがステロイド剤です。  
**発作予防のために、吸入薬をしっかりと使いましょう。**  
そして・・・吸入後、うがいをしてください。

★ ステロイド吸入はすぐに効果が現れるの？

→ 3～4日後から効果があらわれはじめ、1ヶ月でピークに達します。

**注意：**ステロイド吸入は予防薬なので発作時使用しにくいといわれています。  
(場合によっては、医師の指示で発作時追加吸入を行います。)

→ 発作がおこった時は・・・  
ステロイド内服・メプチンエアー・サルタノール吸入剤などを使用してください。



ちょっと一休み

しんどくなって病院にこられる患者さんでよくこんなことがみられます。  
『実は・・・吸入をしていませんでした・・・』

自分の喘息そんなにひどくないし...

仕事・生活が忙しくて...

一見調子が良いようにみえても、一時的には調子が悪くなります。日頃からのコントロールがコントロールには、吸入薬が一番大切です。

最近調子よかったです。



目標

- ・日常生活が送れる
- ・夜や早朝の咳や呼吸困難がなくなるといい
- ・喘息発作が減少する など・・・

長期にわたる予防が大切なのです。

吸入が面倒・うがいもできないし

**調子が良くても自己判断で薬をやめず、医師の指示に従ってください。**

★わからないことがありましたらお気軽にスタッフにお

---



です。

すみます。

吸入薬

使用量は  
★注射=100  
★経口=10  
★吸入=1  
の割合

届く  
とんどいかない  
作用 少ない  
少ない←  
か・効果が速い



よう？

叩える以外にも  
あります。  
ずめられています。

炎症を  
抑えろ！

ぐ剤！

ましよう！！

は口すっきりと～♪♪

こ達します。  
ても効果は  
することもあります。)

享使い分けましょう。

れます。

気に悪化することが  
大切。  
切な薬です。

ト分な睡眠が可能

..

るのはやめましょう。

お知らせください。